

学生支援 だより

TOHOKU UNIVERSITY
GAKUSEISHIEN
DAYORI

2018.7.9 No.

11



CONTENTS

P1	P2	P3	P4
●良識と責任ある行動を心がけてください	●交通事故に気を付けて!	●お酒との付き合い方 ●物を大切に!	●夏は熱中症に注意!

良識と責任ある行動を心がけてください

生活していく上でのマナーやルールについて、地域の方々から苦情や改善を求める声が寄せられています。最近多いのは、「自転車の乗り方」と「騒音」についてです。

自転車の乗り方

- 小学生が歩いている歩道を、スピードを緩めない自転車が走っていった。

➔ 歩行者を優先して、自転車から降りるか徐行してください。歩行者にとって、スピードを出した自転車は非常に怖い存在です。



騒音

- アパートの一室で夜遅くまで大人数で騒いでいる。

➔ 昼の時間帯であっても、大人数で騒ぐことは隣近所の迷惑になりますので、やめてください。また、足音やドアの開閉音は、想像以上に響くことがありますので、気を付けましょう。



なお、夏休み中は、解放感・高揚感から軽い気持ちで迷惑行為や違法行為を行ってしまうことがあるようです。違法行為については、社会においては法律によって厳しく罰せられることとなりますが、それとは別に大学においては、学則に基づき、懲戒処分（退学、停学、戒告）を下すこととなります。軽率な行動は、時によっては大学生活や将来までも失ってしまうことにつながります。**常日頃から「人に対する思いやり（人権の尊重）」と「法令順守の精神」を持ち、良識と責任ある行動を心がけてください。**

迷惑行為・違法行為の一例

- ゴミの分別ルールを守らなかった。
- 海外旅行の際、お土産として麻薬を日本に持ち込んだ。
- SNS上で実在する他人に成りすまして、中傷するような内容を書き込んだ。
- 自転車に乗っていて、停車している車に衝突したが、そのまま逃げた。
- 飲み会の帰り道で、見知らぬ女性の体を触った。



交通事故に気を付けて！

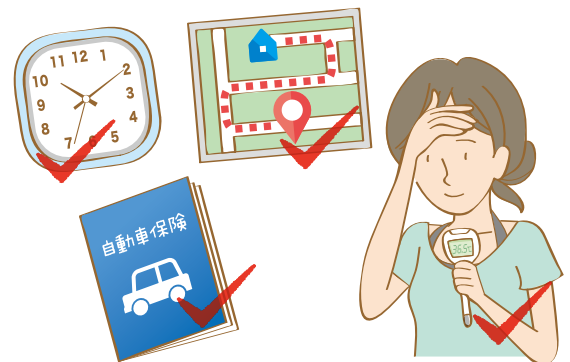
夏休み中は旅行やクラブの合宿・遠征などで、自動車やバイクの長距離運転や初めて行く経路を運転する場合もあると思います。また、みなさんの中には、普段自動車の運転をしないけれど、夏休み中に運転を予定している、という人もいるでしょう。

本学では、長期休暇中に交通事故に遭うケースがこれまでも報告されています。その中には、怪我をするだけでなく、死亡事故となってしまったケースもありましたので、以下の内容をよく読んで、交通事故を起こさないように気を付けましょう。

自動車やバイクを運転する前に

- 1 時間的余裕のある予定をたてる
- 2 経路の下調べをする
- 3 運転・同乗する自動車等の保険について確認する
- 4 天候や体調を確認する

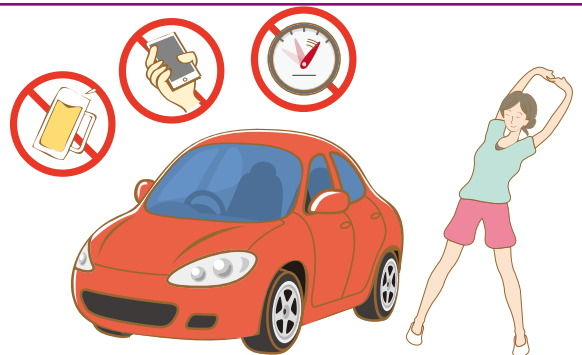
○運転者の技術レベルに合った予定（距離、時間、天候、経路）を立てることが重要です。また、万が一の場合に備えて保険で補償される内容を理解し、必要であれば別途保険に加入する必要があります。



運転中は

- 1 交通ルールを順守する
- 2 休憩をとる。または交代制で運転する
- 3 体調や天候が悪くなったら、予定変更も視野に入れる

○旅行などには予定変更がつきものだと考えて、無理な運転（スピード超過や休憩なしの運転など）をしないようにしましょう。



もし、事故を起こしてしまったら／事故に遭ったら

- 1 あわてずに車両を停止させる
- 2 負傷者がいる場合には、119番通報（救急車を呼ぶ）
- 3 安全を確保し110番通報（警察に事故の通報をする）
- 4 保険会社に連絡する

○事故の場合は、怪我の有無などに関わらず、必ず警察に通報してください。また、事故の被害者になり、相手方が通報を渋るような場合は、あなた自身が警察に通報してください。警察に通報せず当事者同士で示談するのは、後々トラブルの原因になります。



お酒との付き合い方

夏休み中は、さまざまな場面でお酒に触れる機会が多くなりますので、注意事項の再確認をし、飲酒事故の防止に努めましょう。



【禁止事項】

20歳未満の飲酒 (飲酒のほう助も含む)	20歳未満の飲酒は、日本の法律で禁止されており、日本にいる外国人留学生も同様です。また、20歳未満の者に飲酒を勧めることも禁止です。
飲酒の強要 (アルコール・ハラスメント)	飲めるお酒の量は各人で異なりますし、その時の体調によっても違います。また、お酒が全く飲めない人や嫌いな人もいますので、飲酒の強要をしない・させないように、お酒の席ではみなさんが気分よく過ごせるような心配りをしましょう。
一気飲み・早飲み	例えお酒をたくさん飲める体質の人であっても、短時間に大量のお酒を飲むことは、命の危険を伴います。お酒で命を落とすことのないようにしてください。

【酔いつぶれた人・具合の悪い人が出たら】

ひとりにしないで、介抱する	体調が急激に悪化し、死亡する危険があります。また、事件・事故に遭う恐れがあります。
横向きに寝かせ、体温低下を防ぐ	仰向けに寝かせると、嘔吐物がのどに詰まり窒息死する可能性があります。
危険な場合には救急車(119番)を呼ぶ	危険な場合の例: 揺すっても起きない、体温低下、呼吸がおかしい、大量嘔吐など

物を大切に!

本年4月から6月までの川内北キャンパスにおける拾得物・忘れ物の件数(窓口に届いた件数)は、500件を超えており、そのうち、財布やスマートフォンなどの貴重品もかなりの件数に達しています。みなさん、物を大切に、落とし物・忘れ物のないように気をつけましょう。

落とし物・忘れ物の対策として

●自分の持ち物に目印を施しましょう。

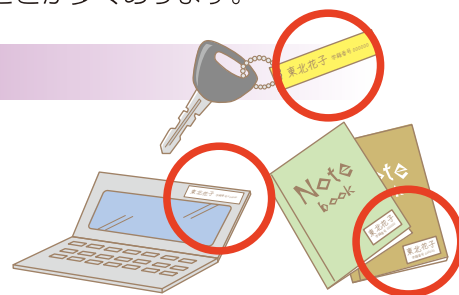
特に、電子辞書は、ユーザー名を登録する、機器本体に名前のシールを貼るなどしましょう。自転車の鍵は、見た目で区別のつかないものが多いので、キーナンバーを控えておく、目立つキーホルダーをつけるなどして、区別がつくようにしましょう。

●移動する前に、忘れ物がないか、友人同士で確認しましょう。

衣類、ノート、教科書などが講義棟や食堂に置きっ放しになっていることが多くあります。

落とし物・忘れ物をしてしまったら

- 1 落ち着いて、最後に使った場所を思い出しましょう
- 2 心当たりの場所を探しましょう
- 3 見つからない場合は、窓口に届いているか確認しましょう
(川内北キャンパスの担当は、学生支援課①番窓口です。)



夏は熱中症に注意!

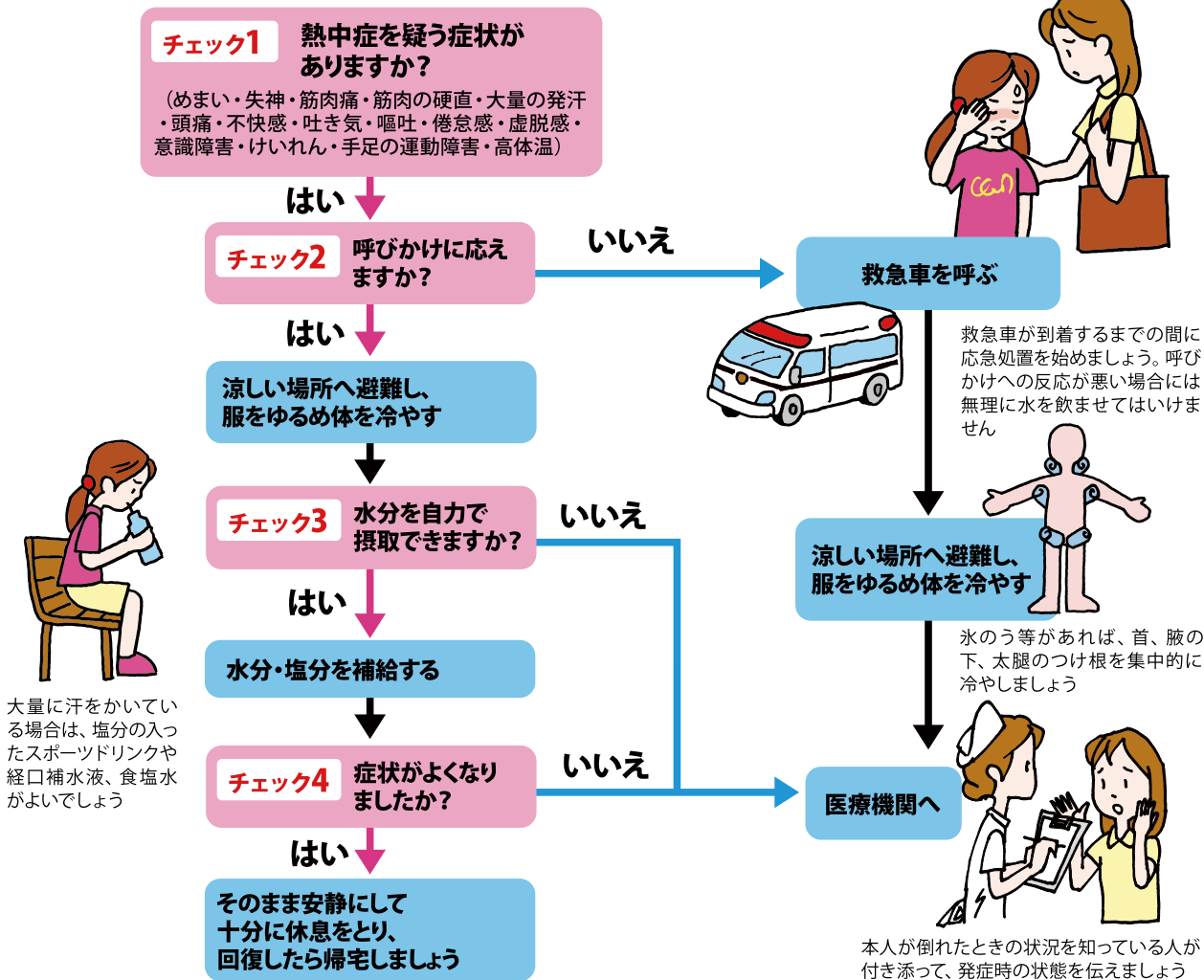
熱中症は、気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。重症になると死に至るおそれもあります。重要なことは、予防すること（屋外では帽子、水分をこまめに摂取、日陰を利用する）、軽症のうちに適切な対応をすることです。

熱中症の症状と対応

重症度	症状	対応（下図に詳記）
軽症	めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、大量の発汗	現場での応急処置
中等症	頭痛・気分の不快・吐き気・おう吐、体がぐったりする	病院への搬送が必要
重症	意識がなくなる、けいれん、歩けない、刺激への反応がおかしい、高体温（熱射病）	病院への搬送が必要

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。



熱中症を疑ったときには何をすべきか

環境省作成「熱中症環境保健マニュアル」から一部改変して引用